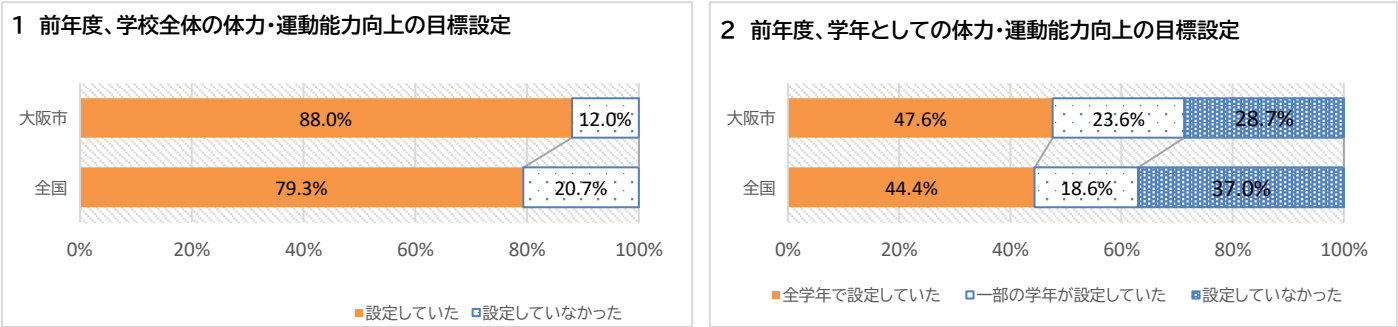


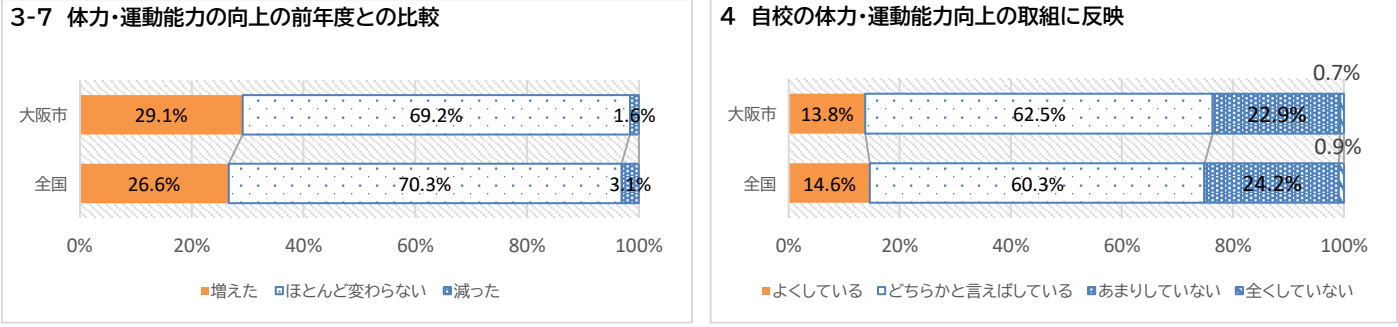
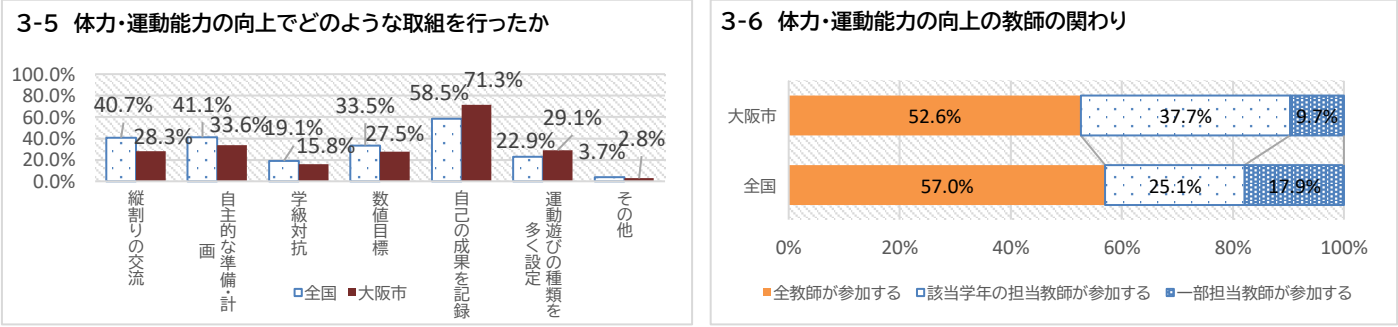
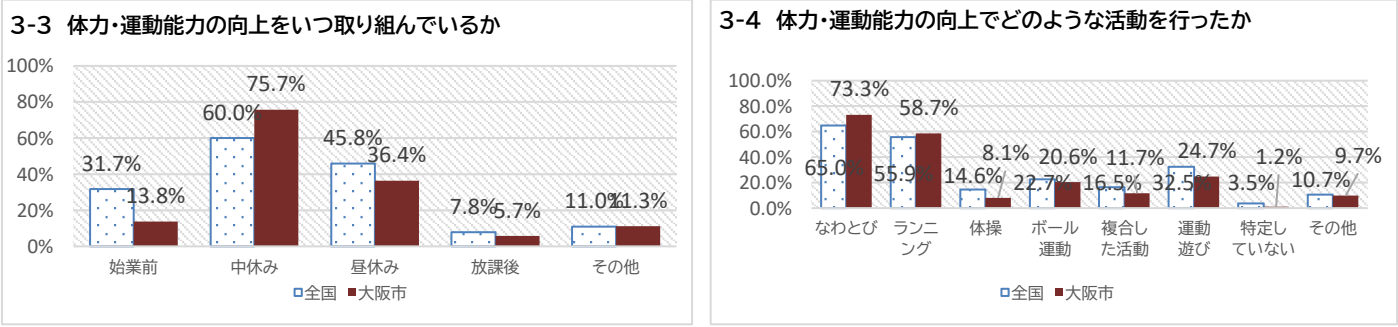
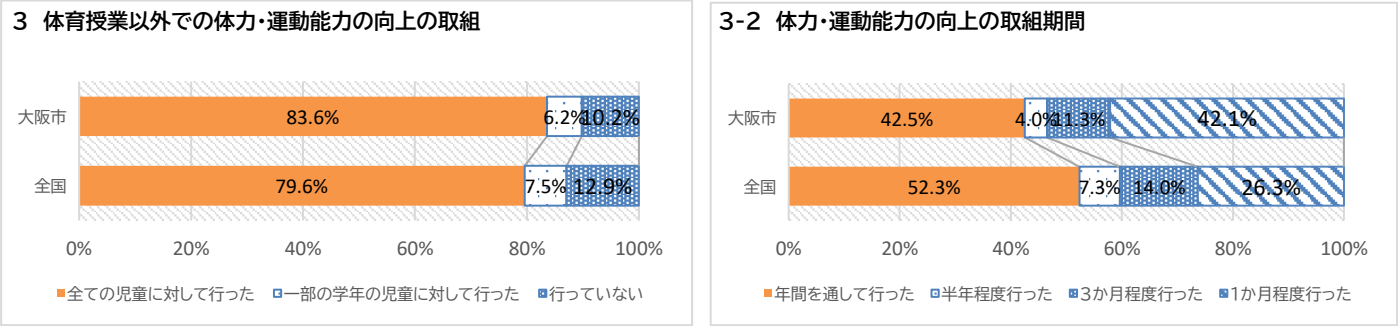
# 学校質問紙調査(小学校)

## 1 児童の体力・運動能力向上に係る取組について



○学校全体の体力・運動能力向上の目標設定をしていた学校の割合は、全国と比べて高かった。  
 ○学年の体力・運動能力向上の目標設定をしていた学校の割合についても、全国と比べて高かった。

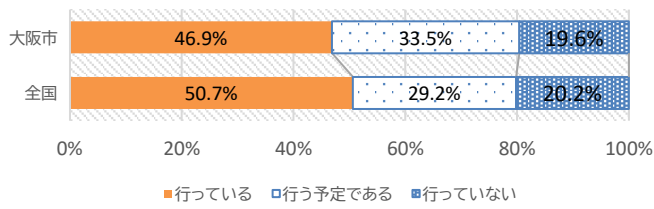
## 2 体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組



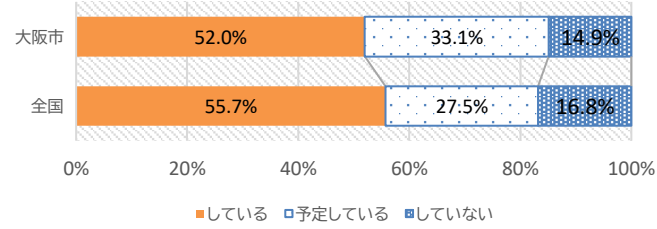
○体育授業以外の体育・運動能力の向上の取組について「行った」と回答する学校の割合が、全国に比べて高かった。  
 ○体育・運動能力の向上の取組が前年度から「増えた」と回答する学校の割合が、全国に比べて高かった。  
 ○体力・運動能力の向上は、大阪市では「中休み」に取り組むことが多く、「なわとび」や「ランニング」などの活動をする学校が多い。また、自己の成果を記録にするなどの取組を行う学校が多い。

### 3 学校の体育授業について

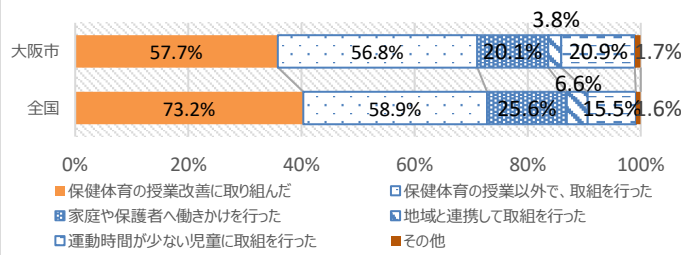
5 運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組



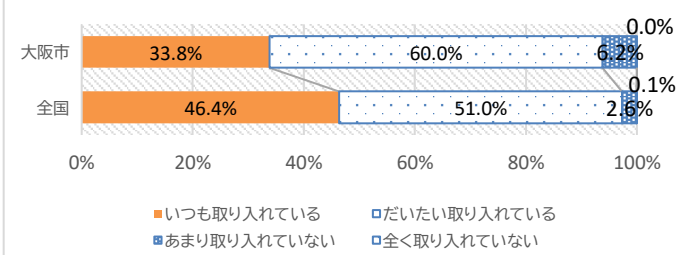
6 調査結果を踏まえた取り組み



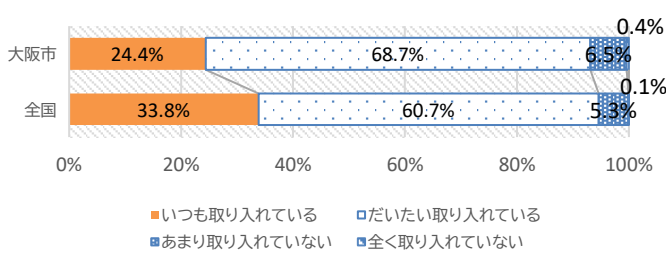
6-2 調査結果を踏まえた授業の工夫・改善



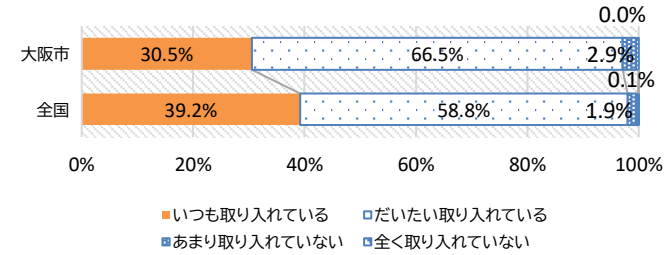
7 体育授業の目標を児童に示す活動



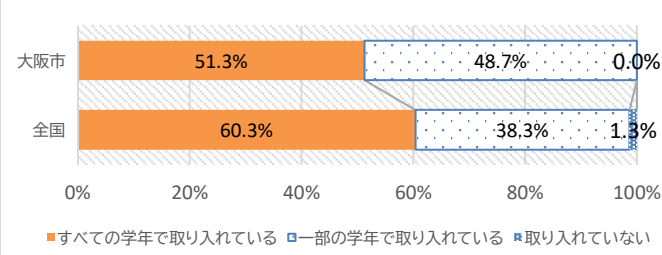
8 体育授業で学習したことを振り返る活動



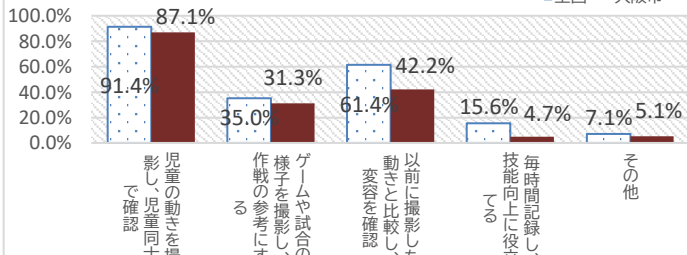
9 体育授業で児童同士が助け合い、役割を果たす活動



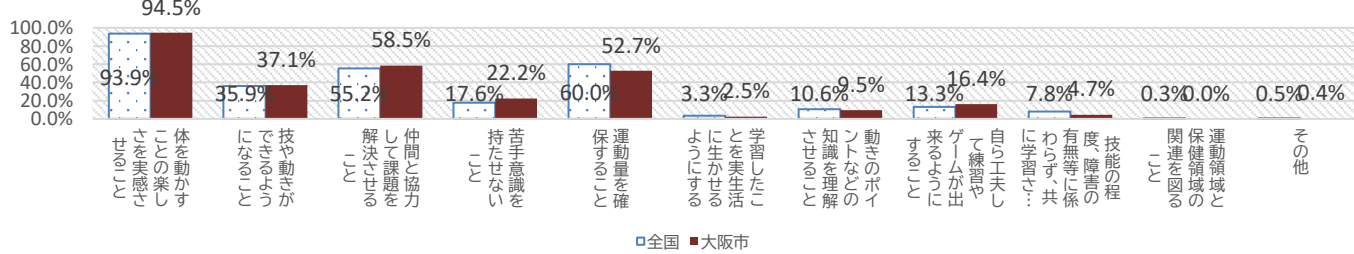
10 体育授業で児童同士で話し合う活動



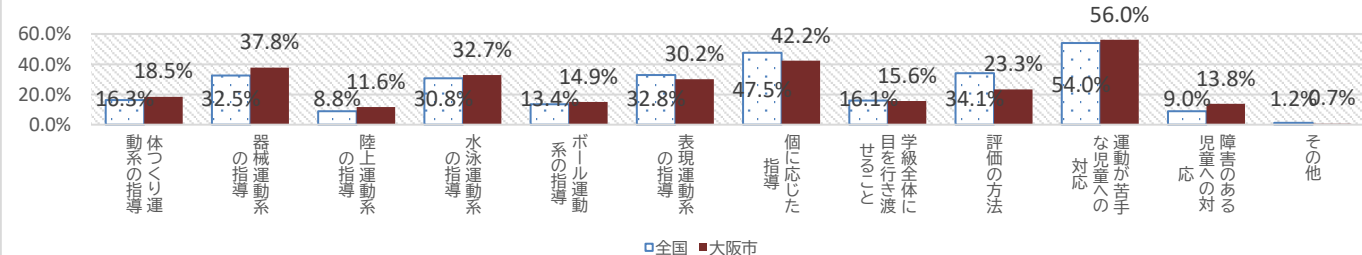
11-2 体育指導で授業中のICTの活用



12 体育の授業で大切にしていること(上位3つ)



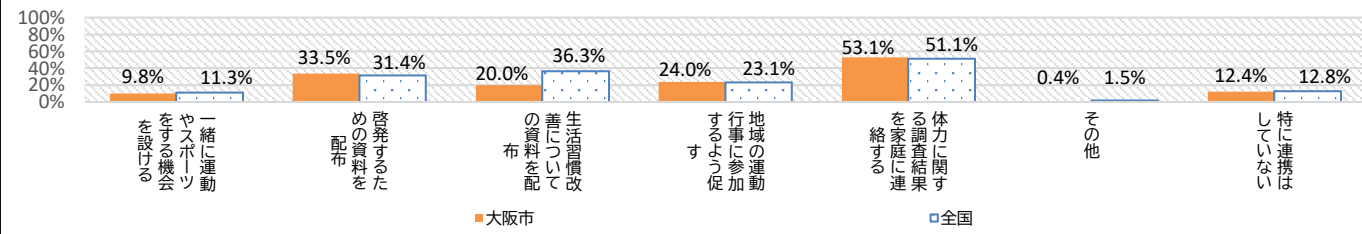
13 体育の授業での課題(上位3つ)



○調査結果を踏まえた取組を「している」「予定している」学校の割合は、全国と比べて高かった。  
○体育授業において、「目標を示す」「振り返る」「児童同士で助け合う」の活動に「いつも取り入れる」もしくは「だいたい取り入れている」学校が多く、「児童同士で話し合う」の活動についても「すべての学年」もしくは「一部の学年」で取り入れられている。

## 4 家庭との連携

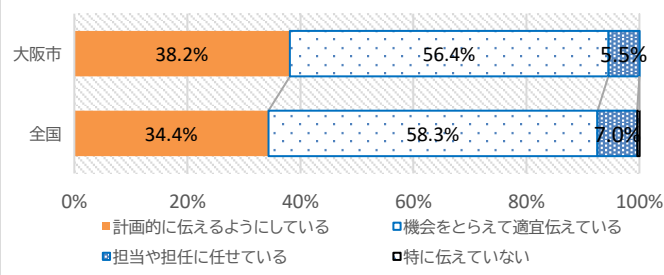
14 運動やスポーツ、児童の体力に関する家庭との連携



○運動やスポーツ、児童の体力に関する家庭との連携について、「体力調査結果を家庭に連絡」している学校が多い。

## 5 学校における体育授業以外の取組について

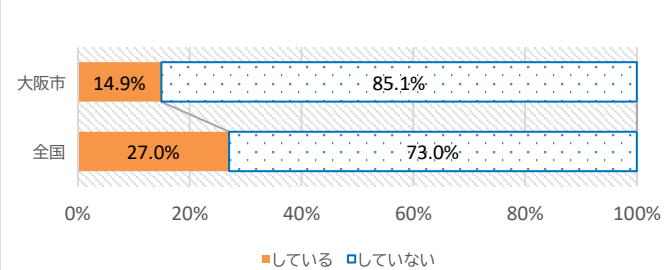
15 健康三原則の大切さの伝達



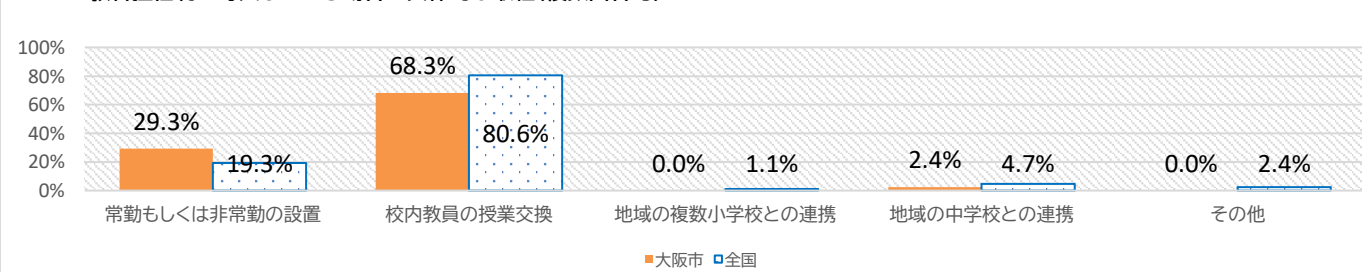
○体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組及び健康の三原則の大切さの伝達を行っている学校の割合は、全国と比べて高かった。

## 6 教科担任制を導入しているか

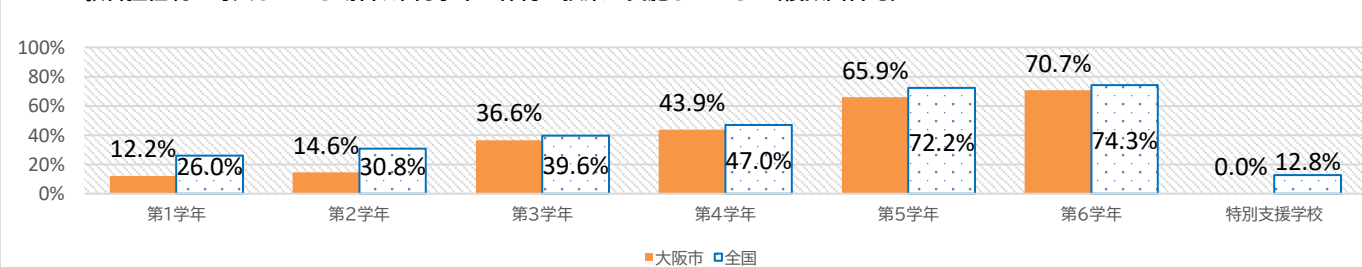
16-1 教科担任制を導入しているか



16-2 教科担任制を導入している場合の具体的な取組(複数回答可)

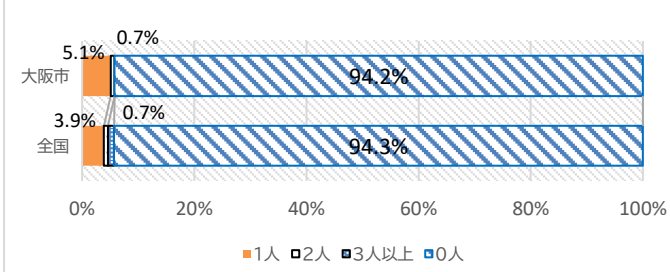


16-3 教科担任制を導入している場合、第何学年の体育の授業で実施しているか(複数回答可)

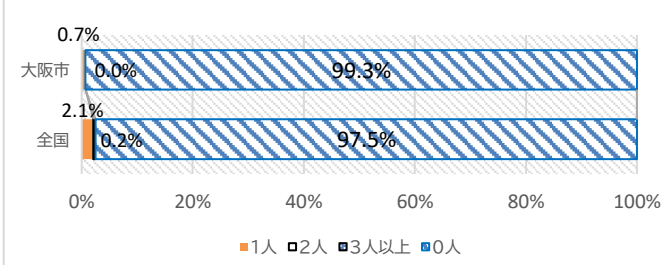


## 7 学校の組織体制(教職員の協働体制、人的配置、学校の人材など)

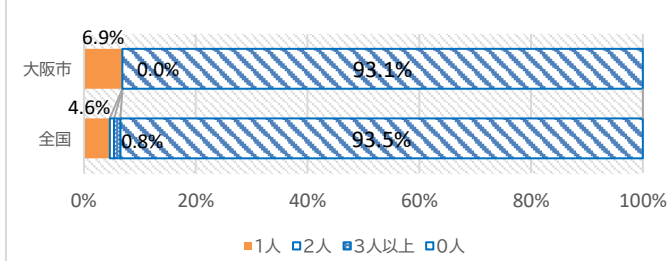
17 体育専科教員の配置状況(令和4年度 常勤)



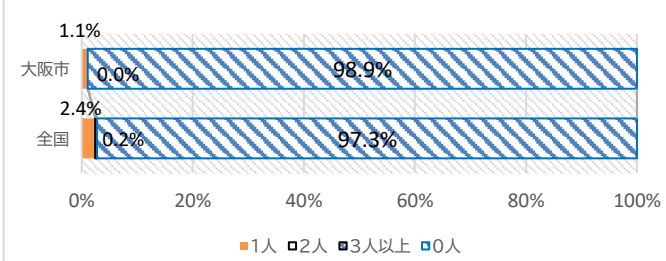
17 体育専科教員の配置状況(令和4年度 非常勤)



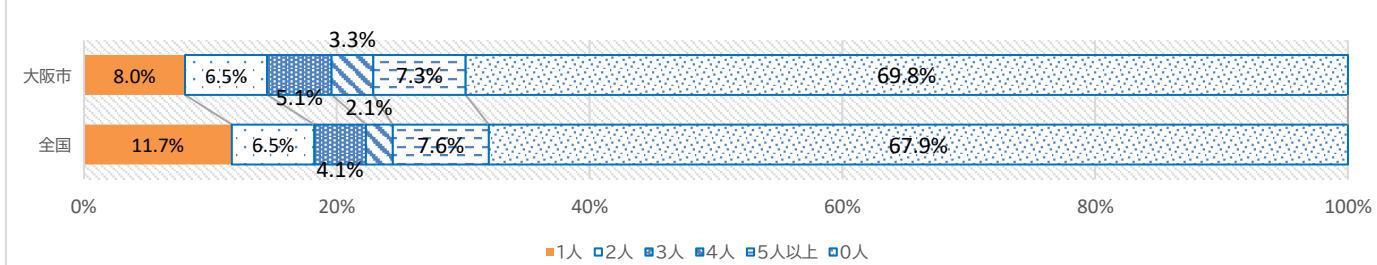
17 体育専科教員の配置状況(令和5年度 常勤)



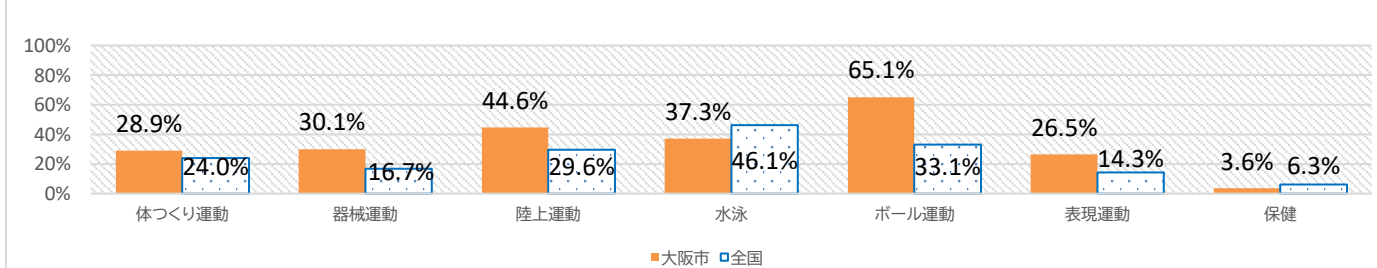
17 体育専科教員の配置状況(令和5年度 非常勤)



18 学校外の人材の活用人数



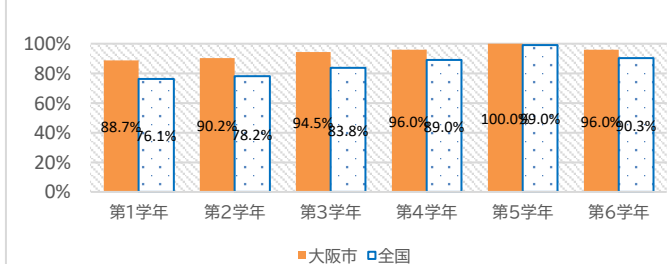
18-2(18で活用している人数が1人以上と回答した学校)学校外の人材の活用領域(複数回答可)



○「ボール運動」「陸上運動」「水泳」において、学校外の人材を活用している学校が多い。

## 8 新体力テストの実施状況

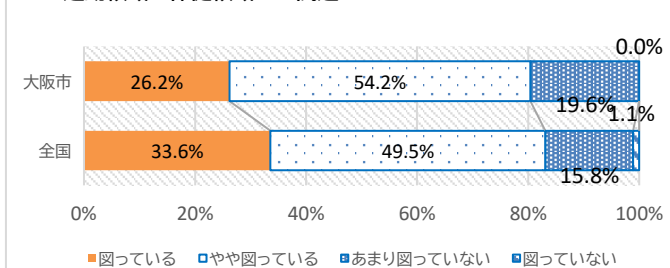
19 実施学年(複数回答可)



○各学年において、新体力テストに取り組んでいる学校の割合は、全国と比べて高かった。

## 9 運動領域と保健領域との関連

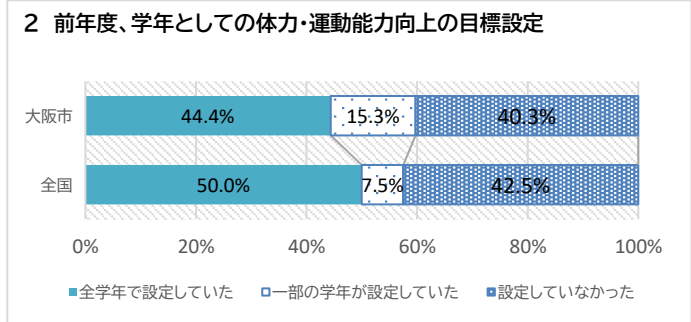
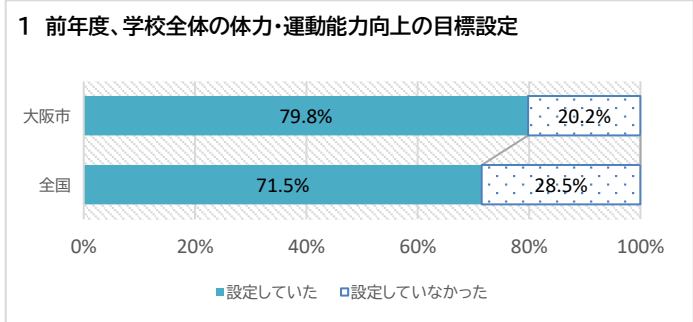
20 運動領域と保健領域との関連



○運動領域と保健領域との関連を「図っている」学校の割合は、全国と比べて低かった。

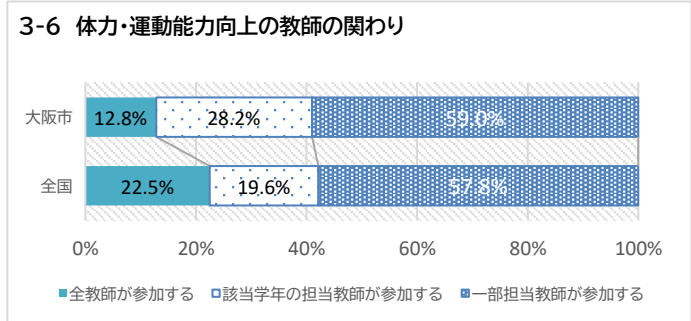
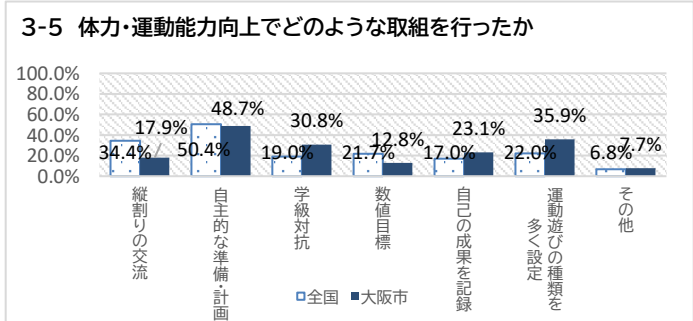
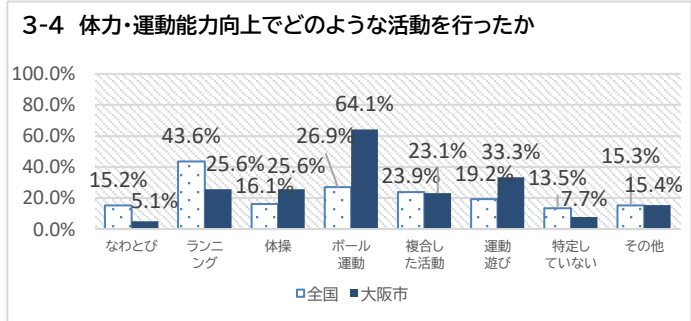
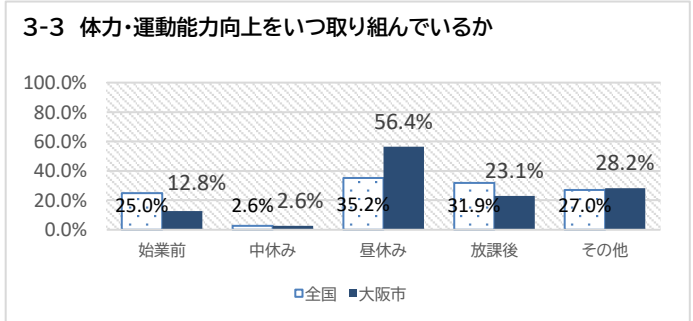
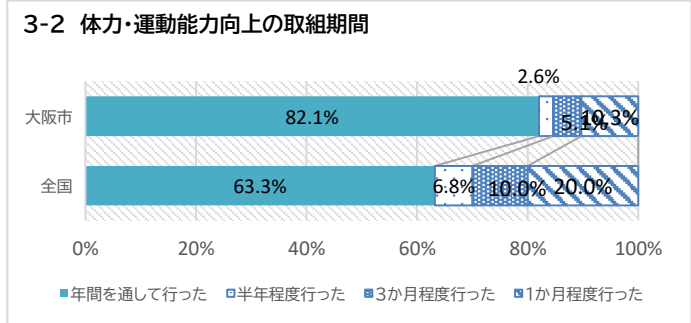
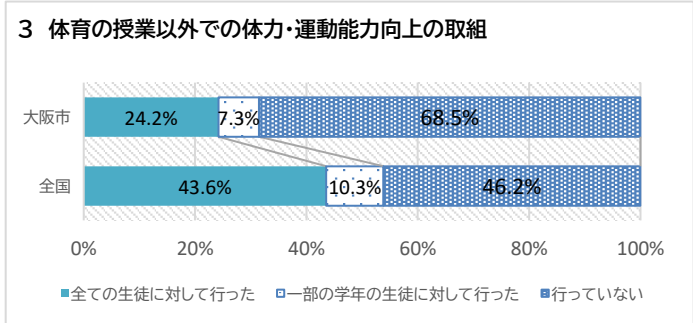
# 学校質問紙調査(中学校)

## 1 生徒の体力・運動能力向上に係る取組について

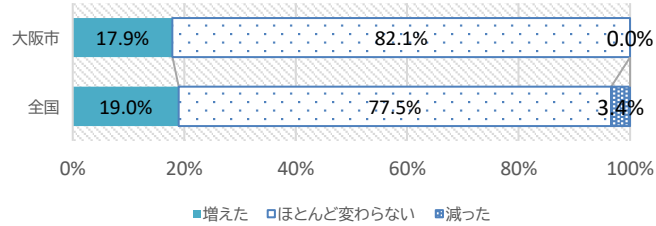


○学校全体の体力・運動能力向上の目標設定をしていた学校の割合は、全国と比べて高かった。  
 ○学年の体力・運動能力向上の目標設定をしていた学校の割合については、「一部の学年が設定していた」を含めると全国と比べて高かった。

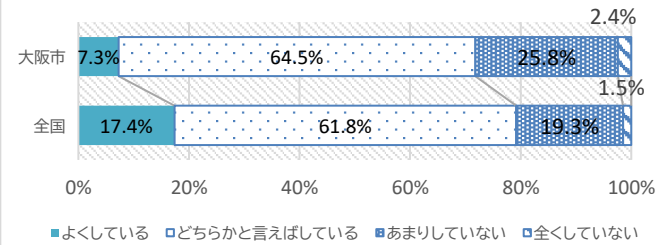
## 2 保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組



### 3-7 体力・運動能力向上の前年度との比較



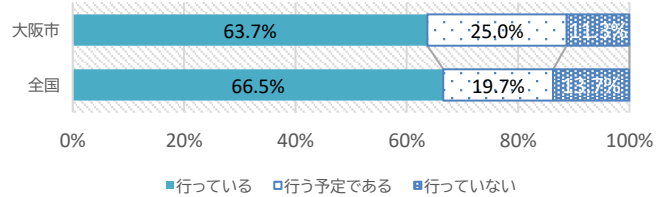
### 4 自校の体力・運動能力向上の取組への参加



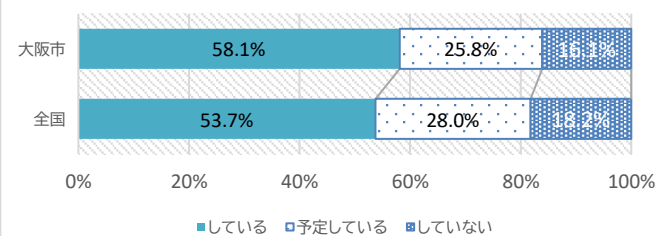
○保健体育授業以外の体力・運動能力向上の取組期間について、「年間を通じて行った」学校の割合が、全国と比べて大幅に高かった。  
 ○体力・運動能力の向上は、大阪市では「昼休み」に取り組むことが多く、「ボール運動」を実施する学校が多い。また、生徒による自主的な準備・計画を取り入れた取組を行う学校が多い。

## 3 学校の保健体育授業について

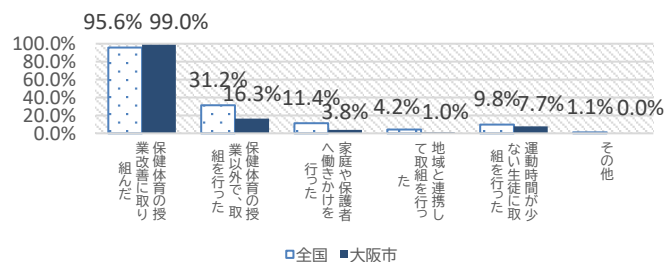
### 5 運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組



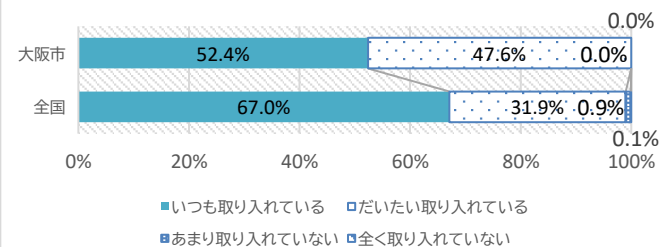
### 6 調査結果を踏まえた取り組み



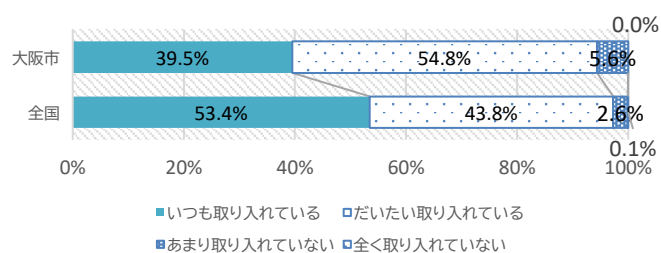
### 6-2 体力・運動能力向上でどのような活動を行ったか



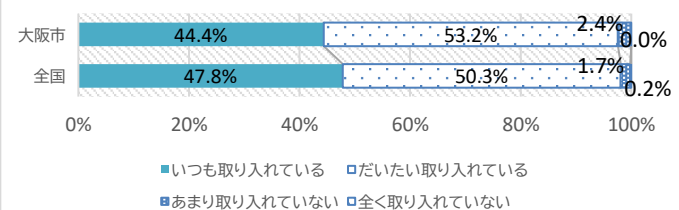
### 7 その授業の目標を生徒に示しているか



### 8 保健体育授業で学習したことを振り返る活動

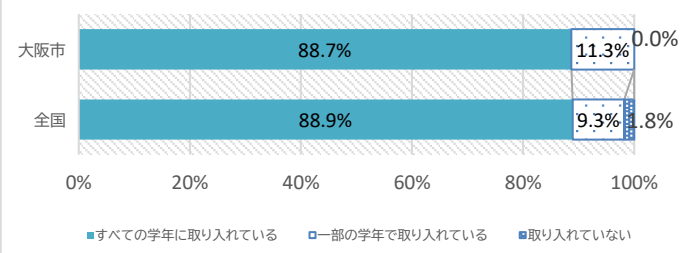


### 9 保健体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動

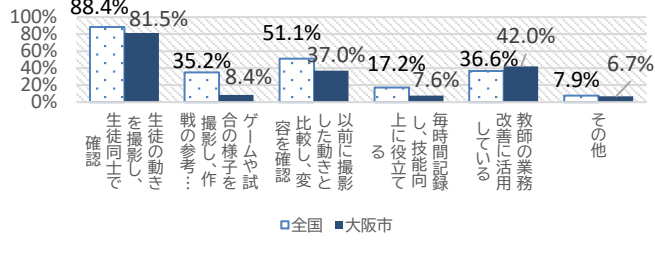




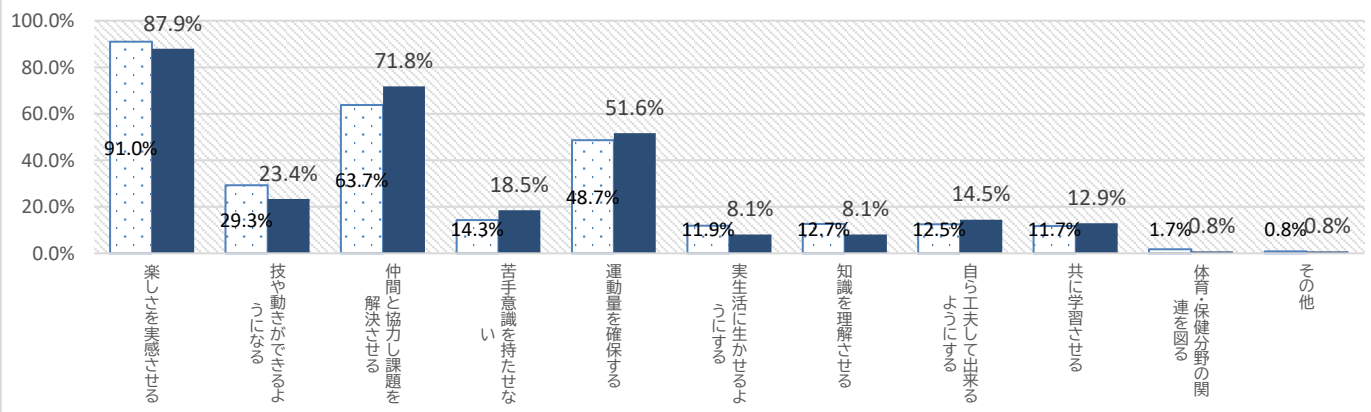
10 保健体育授業で生徒同士が話し合う活動



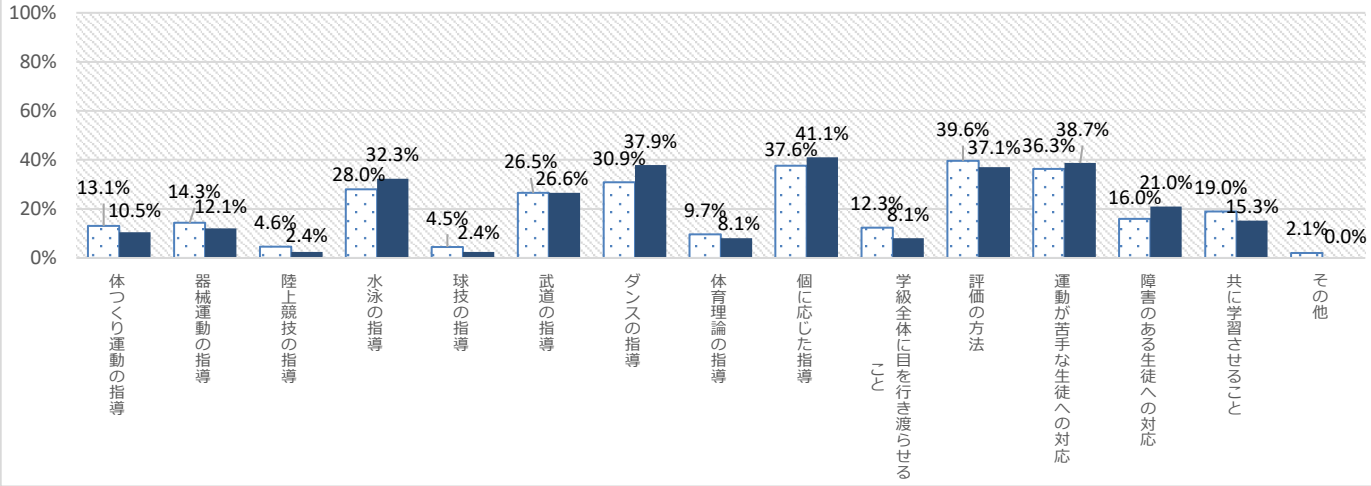
11-2 保健体育指導で授業中のICTの活用



12 保健体育の授業で大切にしていること(上位から3つ)



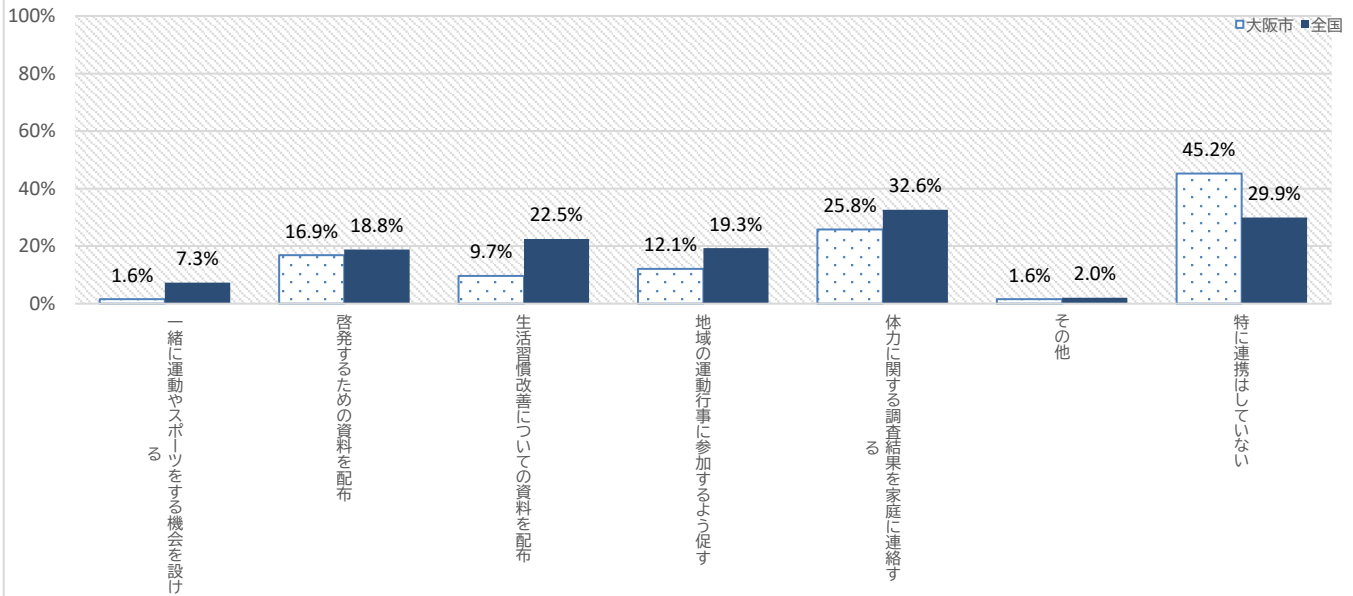
13 保健体育の授業で課題に感じていること(上位から3つ)



- 運動やスポーツが苦手な生徒向けの取組では、「行っている」「行う予定である」の割合が全国と比べて高かった。
- 調査結果を踏まえた取組の割合では、全国と比べて高かった。
- 保健体育授業において、「目標を示す」「振り返る」「生徒同士で助け合う」の活動に「いつも取り入れる」もしくは「だいたい取り入れている」学校が多く、「生徒同士で話し合う」の活動についても「すべての学年」もしくは「一部の学年」で取り入れられている。
- 保健体育の授業において、ICT機器を、「生徒同士で確認」に活用している学校の割合が多い。

## 4 家庭との連携

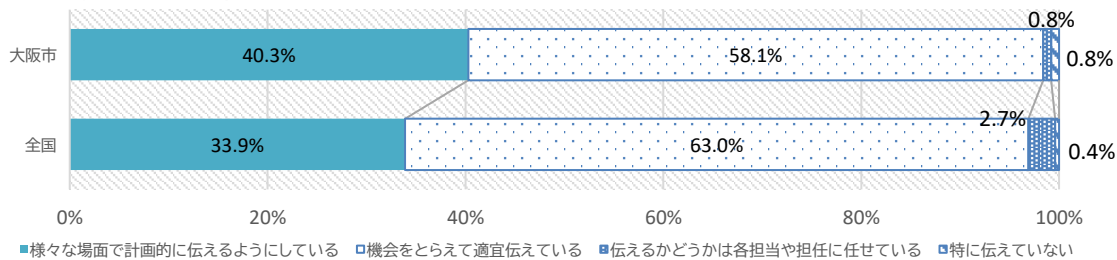
Q14.家庭との連携について



○運動やスポーツ、生徒の体力に関する家庭との連携について、「体力調査結果を家庭に連絡」している学校が多い。一方、「特に連携していない」割合が、全国に比べて割合が高かった。

## 5 学校における保健体育授業以外の取組について

15 健康三原則の大切さの伝達

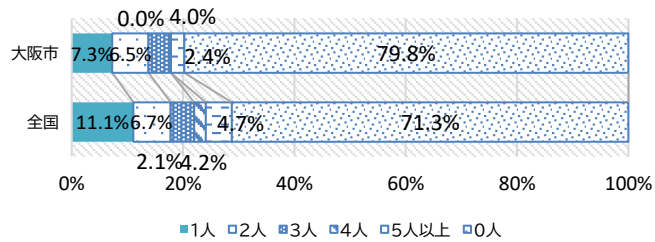


○保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組及び健康の三原則の大切さの伝達を行っている学校の割合は、全国と比べて高かった。

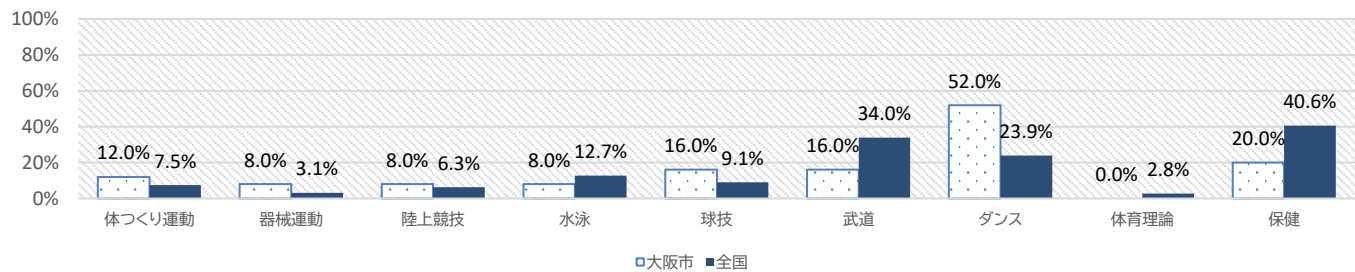


## 6 学校の組織体制(学校の人材、教職員の協働体制など)

16 学校外の人材の活用人数(予定も含む)



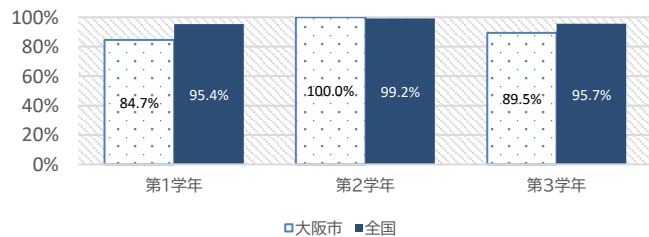
16-2 (Q16で活用している人数が1人以上と回答した学校)学校外の人材の活用領域(複数回答可)



- 学校外の人材を活用している学校の割合は、全国と比べて低かった。
- 学校外の人材の活用領域において、「ダンス」の領域で活用している割合が高い。

## 7 新体力テストの実施状況

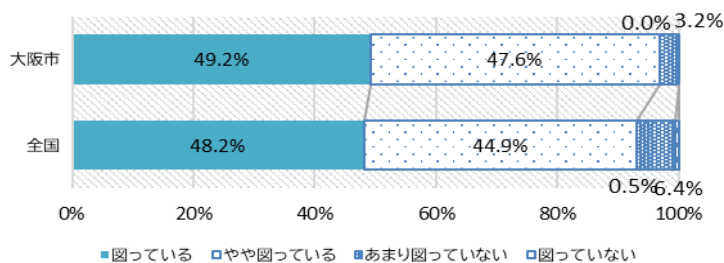
17 実施学年(複数回答可)



- 各学年において、新体力テストに取り組んでいる学校の割合は、第1・3学年では全国と比べて低かった。

## 8 体育分野と保健分野との関連

18、体育分野と保健分野との関連



- 体育分野と保健分野との関連を「図っている」学校の割合は、全国と比べて高かった。